

令和2年12月1日発行 第9号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115

北葛飾郡松伏町上赤岩 711

TEL 992-0051

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

発行責任者 校長



随感随筆～師走を迎えて

校長



この時期としては、暖かな日が続いています。日中の気温は上がりなくなりましたが、朝の冷え込みはまだ厳しくならず助かっています。学校の花壇は、秋の花が終わり、ビオラやパンジー、そして来春に咲くチューリップが新たに植え付けられて、模様替えが済んだところです。

おかげさまで、今年も師走を迎えることができました。今年、3月から5月までの臨時休業や6月からの分散登校・分散授業など、新型コロナウイルス感染症対策に追われた1年となりました。それで

も本校では、いくつかの学校行事を実施することができ、生徒たちにかげのない体験をさせることができました。これも保護者・地域の皆さま方のご理解とご支援のおかげと心から感謝いたしております。ありがとうございます。

ところで、11月27日（金）に、3年生と修学旅行に出かけてまいりました。この修学旅行は、当初5月に京都連泊の予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行の影響で、11月の奈良京都分泊へ変更され、最終的には今回の群馬方面日帰り旅行となって、ようやく実施の運びとなりました。「力を尽くしてくださった先生方、快く送り出してくれた保護者の方々に、全力で楽しむという形で感謝を示しましょう。」「修学旅行がなくなって涙に暮れていた日々。力を尽くしこの遠足を計画してくださった先生方。支え合ってきた仲間。全ての思いを込めてこの遠足を心に刻もう。」、これらは、しおりに載った修学旅行実行委員長、副委員長のことばです。3年生はこの日、様々な思いを胸に、仲間との楽しい時間を満喫していました。

左上の写真は、旅行先の「たくみの里」にあった、わらで作られたアマビエです。人の背の2倍もあるような、とても大きなものでした。アマビエは、「疫病が流行した際は、私の姿の写し絵を人々に見せなさい。」と言い残して、海に消えていった妖怪です。今こそその妖力が発揮されることを願っています。

さて、年末年始はご家庭や地域の楽しい行事等がたくさんある一方で、事件事故が多く発生する時期でもあります。特に、SNSを使った凶悪犯罪に子どもたちが巻き込まれる事件が発生していて、大変心配しています。子どもたちは、社会的な経験値が低いのに好奇心はとても強く、私たちが考える以上に、見ず知らずの人と交流をもつことに抵抗感がありません。学校でも注意いたしますが、ご家庭や地域におかれましても、生徒が安全、安心に過ごせますようご協力をよろしくお願い申し上げます。

新年が、皆さまにとりましてすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。